



これからをつくる
これからを生きる

～ 中核市が創る「ひと・まち・くらし」の未来～

中核市サミット 2024 in 秋田

パネルディスカッション資料

— 目 次 —

中核市サミット2024 in 秋田 パネルディスカッション

第1会場 再生可能エネルギーが創るまちの未来

尼崎市	04~11	ページ
下関市	12~19	ページ
秋田市	20~25	ページ

第2会場 芸術文化が創るまちの未来

八戸市	28~34	ページ
水戸市	36~45	ページ
金沢市	46~54	ページ

※当日スクリーンに投影する内容と一部異なる場合があります。

第1会場 発表資料

【第1会場】

再生可能エネルギーが創るまちの未来

コーディネーター

株式会社 ウェンティ・ジャパン 代表取締役社長 佐藤 裕之 氏

コメンテーター

東京大学名誉教授／世界風力エネルギー学会副会長 荒川 忠一 氏

パネリスト

尼崎市 松本 眞 市長

下関市 前田 晋太郎 市長

秋田市 穂積 志 市長

趣 旨

2023 年に開催された「第 28 回気候変動枠組条約締約国会議（COP28）」において、2030 年までに世界の再生可能エネルギー容量を 3 倍とする目標が掲げられました。気候変動対策は欧州各国が先導する状況にありますが、近年は、我が国においても、政府が取り組む再エネの主力電源化や脱炭素に向けた民間セクターの動きが活発化しています。

こうした中、地方自治体においては、ゼロカーボンシティの実現に取り組むとともに、再エネの地産地消を進め、新たな産業や雇用の創出など経済の活性化を図ることが期待され、中核市は地域において主導的な役割を担うことが求められています。

本パネルディスカッションでは、官民で脱炭素社会を目指す中、経済と環境の好循環をいかに実現させるのか、また、地元の理解促進や地域共生の取組など、中核市の事例発表を踏まえて「再生可能エネルギーが創るまちの未来」について議論を深めます。

尼崎市

松本 眞 市長

「阪神タイガースファーム施設（ゼロカーボンベースボールパーク）」 による官民連携まちづくり

R6.10.31 パネルディスカッション「再生可能エネルギーが創るまちの未来」

尼崎市長 松本 眞

尼崎市の概要 ①

尼崎市 Amagasaki City

人口は約45万人

尼崎市の人口
5年連続
転入超過
(2016年～2020年)

大阪まで10分、
神戸まで15分。
アクセス抜群！



- 本庁、サービスセンター
(住民票、印鑑証明などの発行)
- 保健所、南北保健福祉センター、いくしあ
(保健や福祉、子育てに関する相談など)
- ★ 生涯学習プラザ
(各地域の学びの拠点)

「まちのイメージが
良くなった」と答えた人の割合

55.7%

※2021年度の市民意識調査

91.3%

「尼崎市に住んで良かった」と
答えた人の割合

刑法犯認知件数
この9年間で
62.6%減



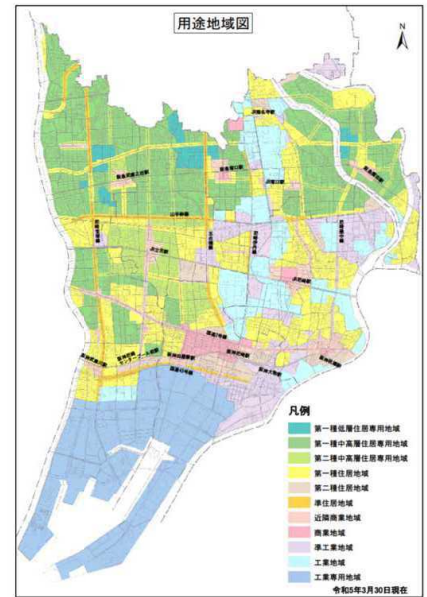
産業都市として発展

➤ 人口集中や産業の隆盛による都市化が急速に進展

- ・ 高度経済成長期における工業生産の拡大に加え、人口急増への対策として、土地区画整理事業により宅地の供給や都市基盤の整備を重点的に実施

➤ 基幹交通網が発達し物流機能が向上

- ・ 名神高速道路や国道43号といった広域的な基幹交通網の整備により、都市間相互の物流機能が向上



コンパクトな市域における産業機能・
都市機能の集積が大きな強み

(現在の市内用途地域割合)

- ・ 工業地域：36.6%
- ・ 住居地域：57.6%
- ・ 商業地域：5.8%

一方で…

公害問題など、様々な弊害への対応が必要となった

3

環境課題への対応

良好な環境の確保に向けた取組

➤ 平成24年度「環境モデル都市」に選定

- ・ 低炭素社会の実現に向け高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジしている都市として選定

➤ 令和3年度「気候非常事態行動宣言」を表明

- ・ 2050年までにCO2排出量を実質ゼロとする脱炭素社会を実現するため日々の行動を変えていくことを宣言

➤ 令和3年度「地球温暖化対策推進計画」を改定

- ・ 2030年度のCO2排出量を2013年度比28→50%以上削減に引上げ
- ・ 再生可能エネルギーの地産地消や省エネ型建築物・設備の普及などの施策推進

➤ 令和5年度「尼崎市環境基本計画」を改定

- ・ 環境・資源には限りがあることを前提に、市民、事業者、市が互いに協力し私たち一人ひとりの意識・行動を変えていくことで環境と調和したまちの実現を目指す
- ・ 6つの目標を設定：①脱炭素社会の構築 ②循環型社会の構築 ③自然共生社会の構築 ④安全で快適な生活環境の保全 ⑤経済のグリーン化 ⑥環境意識の向上、行動の輪の拡大



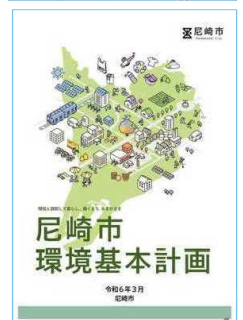
環境モデル都市

あまがさき

ECO未来都市・尼崎 宣言

尼崎版グリーンニューディール

尼崎市
気候非常事態
行動宣言



4

阪神タイガースファームの取組経過と大物地域の課題

背景

- タイガースファーム…現在の鳴尾浜球場は手狭であり老朽化が課題(駅からも遠い)。以前(1979～1995年)は尼崎市の浜田球場にあった。
- 小田南公園…防災公園として国庫補助を受けて整備。財政難により一部は整備できないまま未利用だった。

市と阪神グループ双方の課題解決の実現！＝南部地域(阪神沿線)の活性化

取組経過

平成28年度	阪神グループと移転について協議開始
令和2年 秋頃	小田南公園を移転候補地として選定
令和2年 11月	誘致に関するアンケート調査及び説明会
令和3年 5月	施設移転に向けた「基本協定書」の締結
令和3年 12月	負担付き寄付の議案可決
令和4年 4月	第1回脱炭素先行地域に選定
令和5年 3月	再整備工事の着工
令和7年 3月	供用開始(予定)



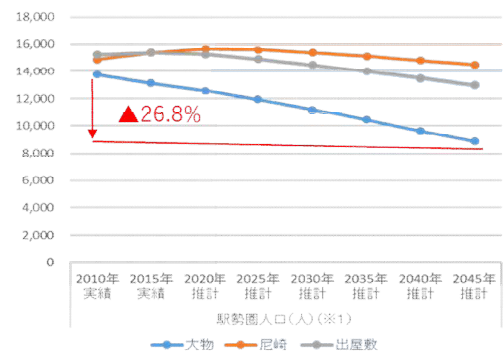
令和5年3月(工事着工前)



令和6年7月(現在)

大物地域の課題

- 全市と比較して大物地区は人口の増減率が大い(全市 98% → 大物地区 95%)
- 市内の阪神電鉄3駅の中でも大物駅周辺の人口減少の推計が大い



5

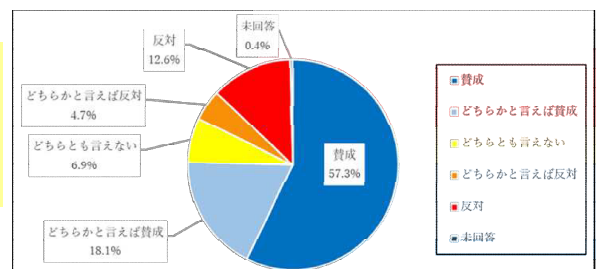
近隣住民への意見聴取

誘致に関するアンケート調査・説明会の実施

	配布数(件)	回答数(件)	回収率(%)
小田南公園の近隣住民(各戸配布)	10,142 件	2,345 件	23.1%
小田南公園利用者(公園にて直接手渡し)	956 件	393 件	41.1%
合 計	11,098 件	2,738 件	24.7%

- 小田南公園に阪神タイガースファーム施設を誘致することに対する意見

賛成(どちらかと言えば賛成も含む) **約75%**
反対(どちらかと言えば反対も含む) **約17%**
その他(どちらとも言えない等) **約8%**



- 自由記述等における主な意見

【期待するご意見】

- 地域の活性化、尼崎市のイメージアップ
- プロ野球の試合観戦、練習見学、選手との交流 など

【心配するご意見】

- ため池広場の廃止、自然や憩いの場の減少
- 多目的運動場、遊具の減少
- ゴミのポイ捨て、利用客のマナー
- 騒音、照明による住環境への影響
- 迷惑駐車・駐輪、交通渋滞・事故の増加
- 防災機能の低下 など

6

周辺公園等の整備も含めた事業計画に拡大



- 周辺公園の整備は、タイガースファーム施設が移転することで発生する税収や使用料等を基に再整備

- 周辺公園等の整備も含めて事業計画を見直しを行い、正式に移転に向けて進めていくことを決定



7

脱炭素先行地域の選定

脱炭素社会のモデル地域として、環境省の「脱炭素先行地域」に選定

- **タイトル**： 阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画 ～地域課題解決型！官民連携事業～
- **共同提案者**： 阪神電気鉄道株式会社
- **計画概要**： 本市の交流人口の増加や地域活性化とともに、スポーツ振興の推進や観光の目玉施設としてゼロカーボンベースボールパークを整備
～ スポーツとの連携による、地域活性化と市民やファンの行動変容を強力に推進 ～
- **計画期間**： 令和4～9年度
- **総事業費・交付上限額**： 総事業費 160億円
交付上限額 35億円
- **CO2削減効果**： 先行地域内の電力使用にかかる年間CO2排出量約2,900トンゼロに

全国から579件（102自治体）の応募があり、26件が選定！



日本初！！「ゼロカーボンベースボールパーク」の誕生！！

8

小田南公園の主な取組



9

特徴的な取組

- ① タイガース野球場 (ZEB Oriented)、室内練習場及び尼崎車庫 (ZEB Ready) 等による省エネ化の徹底

タイガース野球場
: ZEB Oriented



- ② ゼロカーボンベースボールパーク内施設及び近隣公園に太陽光発電 (約720kW) と蓄電池 (約230kWh) を導入し、不足する電力は市クリーンセンターの廃棄物発電の余剰電力を活用

室内練習場
太陽光発電設備:603kW
蓄電池:200kWh



- ③ 市内の阪神電鉄駅舎6駅及び車庫に太陽光発電設備(約1,100kW)を導入し、自家消費を行いつつ、各駅間で融通し、不足分は再エネ電力を調達

- ④ 阪神バス26台のEV化及び2025年4月から阪神電鉄の鉄道事業 (全線の列車運行及び駅施設等) で使用する全ての電力を脱炭素化 (予定)

EVバス: 阪神バス



10

まちづくりにも発展

阪神タイガースファームの取組にとどまらず、阪神電鉄(株)とは、本市南部地域の活性化を目的とした「まちづくり協定」を締結

➤ 連携事項

- (1) 駅を中心としたまちづくりや交通機能の強化等に関する事
- (2) 地域資源を活用したまちの賑わいづくりに関する事
- (3) 都市防災の強化や暮らしの安全安心の向上に関する事



中央公園のリニューアル
(阪神尼崎駅北側)



地域資源を活用した観光
周遊ルートの確立

13

ご清聴ありがとうございました

中核市サミット



下関市

前田 晋太郎 市長



再生可能エネルギーがつくるまちの未来 ゼロたんチャレンジ！しものせき

下関市長 前田 晋太郎



中核市サミット2024in秋田

下関市について



◆面積 (令和5年10月1日現在)

面積：716 km²
※東京23区の総面積：628 km²

◆人口・世帯数 (令和6年1月末日現在)

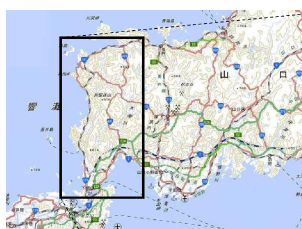
人口：246,665人
世帯数：128,283世帯

◆成り立ち

- ・本州最西端、九州・大陸につながる港町として古来より発展。
- ・2005年、旧下関市と豊浦群4町が合併して現在の姿に。

◆産業立地

- ・本州の最西端に位置し、九州との結節点
- ・下関港より韓国、中国への国際フェリー航路が整備
- ・山口銀行、長府製作所などの本社のほか、三菱重工業、神戸製鋼所、ブリヂストン、シマノなどの製造拠点が多数



下関バイオマス発電所の建設



	下関バイオマス発電所
事業者	下関バイオマスエナジー 合同会社
敷地面積	45,000m ²
発電出力	75MW
発電量	5億kWh/年 (一般家庭の14万世帯分)
ペレット使用量	30万トン/年
運転開始	令和4年(2022年)2月



H30.2 国内最大級のバイオマス発電所を誘致

2

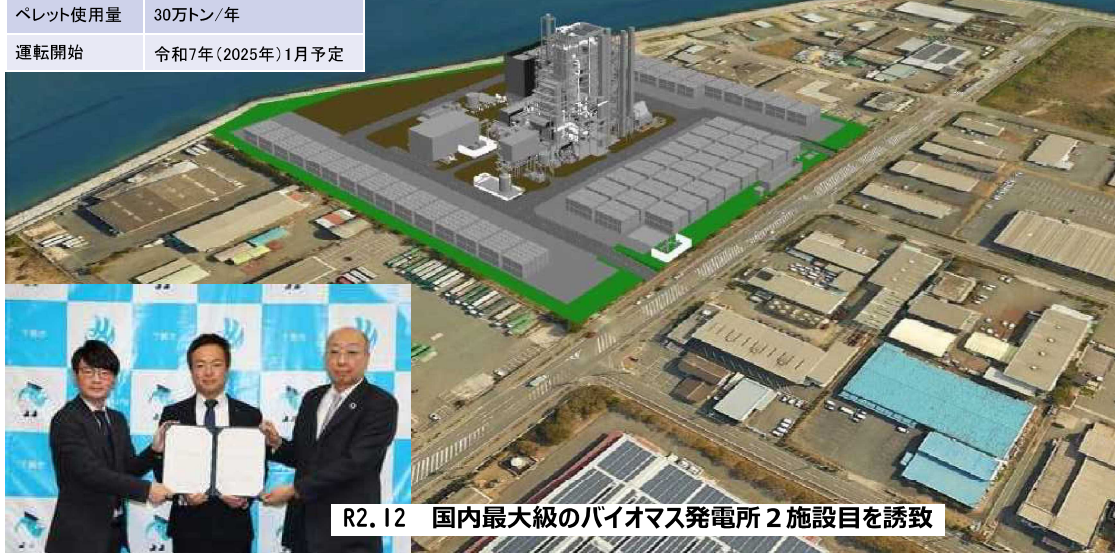
長府バイオマス発電所の建設



	長府バイオマス発電所
事業者	長府バイオパワー 合同会社
敷地面積	62,800m ²
発電出力	75MW
発電量	5.2億kWh/年 (一般家庭の14万世帯分)
ペレット使用量	30万トン/年
運転開始	令和7年(2025年)1月予定

バイオマス発電所による地域への裨益

- 雇用の創出
- 維持管理(メンテナンス)の地元発注
- 工業用水の使用による市収入増
- 港湾、岸壁の使用による市収入増



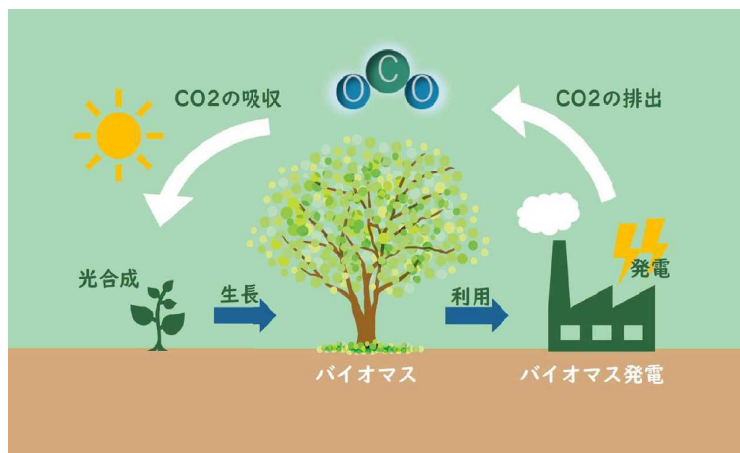
R2.12 国内最大級のバイオマス発電所2施設目を誘致

3

木質バイオマス発電の概念図

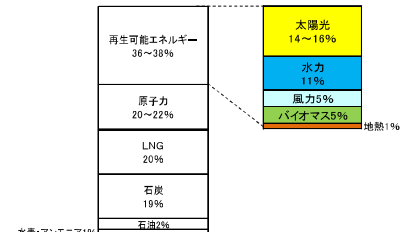


大気中のCO2は増加しない＝カーボンニュートラル



木質ペレット

燃料用に植林した樹木や森を育てる上で生じた間伐材等を乾燥させ、細かく砕いて粉にした後、圧力をかけて固めたもの。



2030年度電源構成

出典：国立環境研究所

4

長府バイオパワー合同会社



完成イメージ



JAPEX
石油資源開発株式会社

石油資源開発 株式会社

Q'd

株式会社 東京エネシス

CHOFU

株式会社 長府製作所(市内企業)

"K" LINE KINKAI
KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA, LTD.

株式会社 川崎近海汽船

MOT
Management of Technology

株式会社 MOT総合研究所(県内企業)

5

地域新電力(自治体新電力)とは、

- ・エネルギーの地産地消を通じて、エネルギー代金の域外流出の抑制を図る
- ・さらに、得られた利益を地域活性化に活用

事業遂行上の役割を担う5者協業にて地域新電力会社を設立

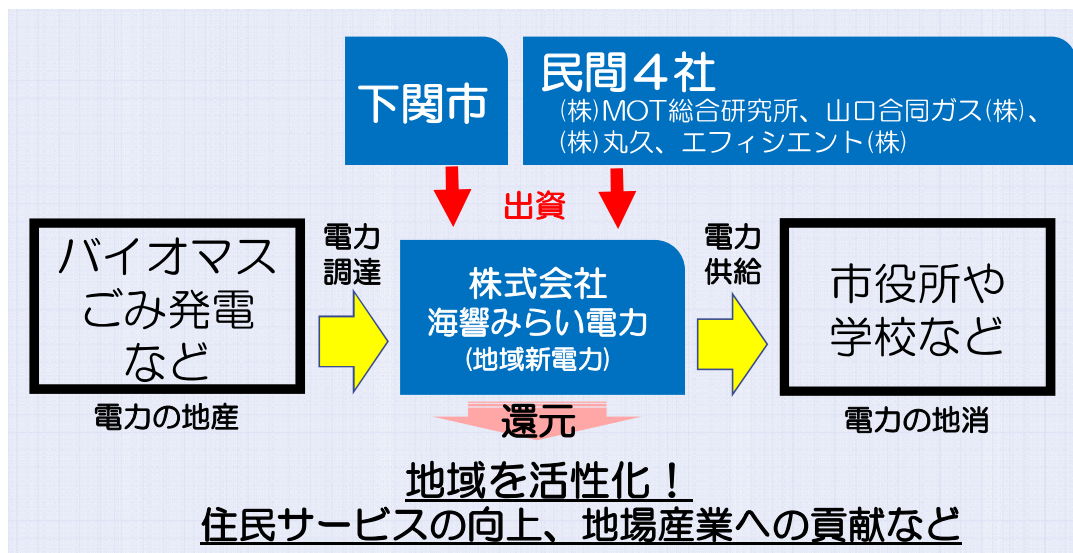
下関市 Shimonoseki-city 下関市 ・経営戦略・管理 ・公共設備からの電力供給 ・公共施設の電力使用 事業普及活動 出資率:33.3%	MOT総合研究所 Management of Technology ・事業計画 ・会社設立 ・経営戦略・管理 事業運営統括 県内企業 出資率:53.7%	山口合同ガス株式会社 山口合同ガス ・本社拠点の電力使用 ・企業、家庭への広報斡旋 事業普及活動 市内企業 出資率:10.0%	リテールパートナーズ RETAIL PARTNERS ・本部店舗での電力使用 ・店舗での広報斡旋 ・企業への斡旋 事業普及活動 県内企業 (市内店舗あり) 出資率:2.0%	EFFICIENT エフィシエント ・小売ライセンス取得 ・関係機関申込対応 ・電力需給管理 ・顧客管理 事業普及活動 県外企業 出資率:1.0%
--	--	--	--	--

(株)海響みらい電力設立<2024年(R6年)6月6日>



- ※下関市・民間4社の共同出資（資本金1,500万円）
- ※2025年4月より公共施設へ電力供給開始予定
- ※収益は地域活性化事業などへ還元

地域の再生可能エネルギーを活用し、地域の脱炭素化、
エネルギーの地産地消、地域経済の循環を目指します



●奥山工場

再生可能エネルギーの調達

- ・奥山工場（ごみ発電）
- ・太陽光発電
- ・長府バイオマス発電所

エネルギーを
「消費する地域」から
「生み出す」地域へ
再エネの電力供給



●しものせき水族館(海響館)

再生可能エネルギーを利用

- ・海響館、市役所、学校など公共施設

脱炭素先行地域の選定状況（第1回～第5回）

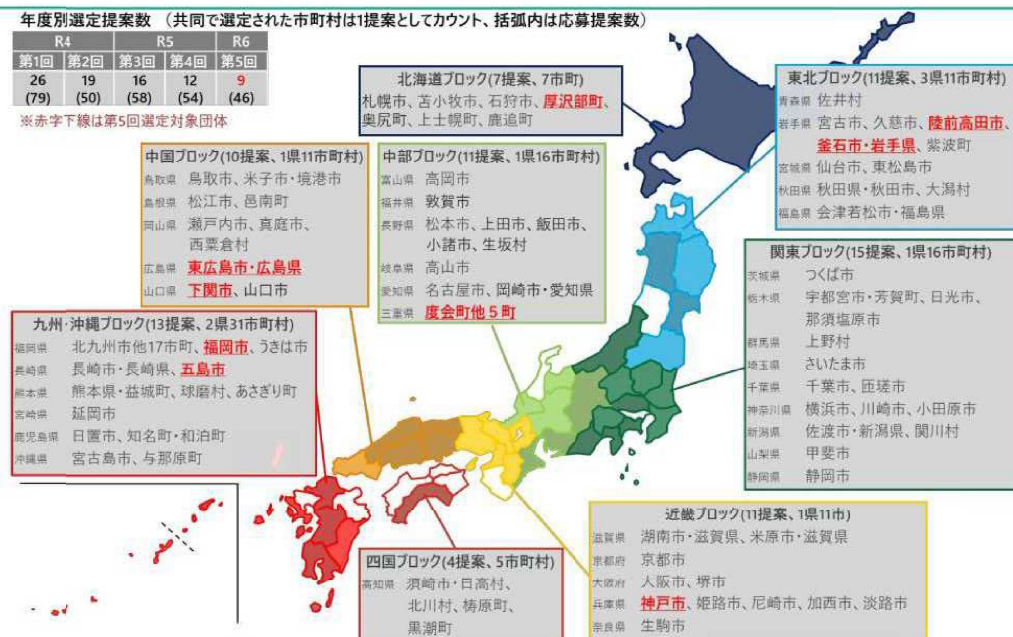


- 第5回において、**9提案（2県14市町）**を選定。（令和6年9月27日発表）
- 第1回から第5回までに、全国38道府県108市町村の**82提案**となる。

年度別選定提案数（共同で選定された市町村は1提案としてカウント、括弧内は応募提案数）

R4	R5	R6
第1回	第2回	第3回
26 (79)	19 (50)	16 (58)
	12 (54)	9 (46)

※赤字下線は第5回選定対象団体



10

下関市：地域経済のエコロジカルな循環による海峡（環境）都市づくり

～ウォーターフロントから始まるサステナブル・シティ～



脱炭素先行地域の対象： **あるかぼーと・唐戸エリア、再エネ供給エリア(山陰廃末処理場エリア、豊浦町川棚エリア、豊田町エリア)**

主なエネルギー需要家： 戸建住宅36戸・集合住宅27棟(878世帯)、民間施設120施設、公共施設12施設

共同提案者： (株)会津パ、(株)エネルギーソリューション・アンド・サービス、(株)海響みらい電力、コスモ石油マーケティング(株)、(公財)下関海洋科学アカデミー、(国研)水産研究・教育機構水産大学校、ダイキン工業(株)、(株)日立製作所、(株)山口銀行、山口合同ガス(株)、(株)山口フィナンシャルグループ、(同)有機の里、(株)YMFG ZONEプランニング、ワイエムコンサルティング(株)、ワイエムリース(株)

取組の全体像

唐戸市場等の観光施設や第三次産業が集積する市街地を中心として、下関市の**環境配慮行動優良事業者認定制度**と連携した地域金融機関が**金利優遇融資商品(サステナビリティ・リンク・ローン：SLL)**を提供。毎年度設定する目標達成に応じて金利優遇等のインセンティブを拡大することで設備投資等を加速化し、**認定事業者の脱炭素化を推進**する。また、地域金融機関、地元設備メーカー、メンテナンスを担う市内設備事業者等、地元事業者を巻き込んだ**地域リース事業**を展開。これらの取組により、**地域経済循環を創出し、地域経済の活性化と脱炭素化の同時達成を図る**。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 市の**環境配慮行動優良事業者認定制度**における評価項目と連携した**金利優遇融資商品**を金融機関が提供し、**再エネ・省エネ設備の投資を促進**
- ② 地域金融機関、地元・地域外の大手メーカー、市内設備事業者が連携した**地域リース事業**を実施
- ③ 川棚地区の管理者が不在となった遊休農地(6ha)に**営農型太陽光発電(1,188kW)**や関門海峡の潮流を活用した**潮流発電(100kW)**を設置
市が出資している**地域新電力**が、上記地産再エネ等を電源とした**再エネメニュー**を創出
- ④ **エネルギー消費量大きい唐戸市場や海響館**において、省エネ機器の更新や大規模な空調設備等を調整力に活用した運転を効率化



あるかぼーと・唐戸エリア実現イメージ

2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

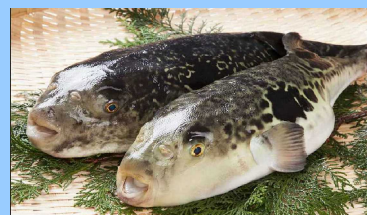
- ① CO2削減に寄与する行動(再エネ電力の使用や環境イベントへの参加等)に対し、地域産品等と交換できる企業版ふるさと納税等を原資としたエコポイントを付与
- ② 水産大学校等の教育機関と連携した水族館・市場での環境教育を実施

3. 取組により期待される主な効果

- ① 地域金融機関との連携により新規事業の立上げ支援から**市の認定制度**と連携した**資金調達サポート(SLL)**、設備導入(**地域リース事業**)までのワンストップソリューションを提供することによって、**地域経済循環による地域活性化と認定事業者の脱炭素化を推進**
- ② ソーラーシェアリングにより農地再生と経営安定化による担い手確保や、潮流発電設備の製造やメンテナンスを市内事業者が担う仕組みを構築
- ③ エコポイント制度の活用や集客力のある施設での環境教育の実施により市民や観光客の行動変容を促進

4. 主な取組のスケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
			金利優遇融資商品の提供		
			リース事業の提供		
		ソーラーシェアリング導入			
		潮流発電の導入			
		再エネメニューの供給			
		唐戸市場・海響館の省エネ導入			
		エコポイント付与制度の実施			
		環境教育プログラムの提供			



まちの誇りと自然の恵みを未来へつなぐ 輝き海峡都市・しものせき
ご清聴ありがとうございました



秋田市

穂積 志 市長



秋田市の取組 ～再生可能エネルギーが創るまちの未来～

 秋田市長 穂積 志

◆秋田県における風力発電



【陸上風力発電】

- 日本海から強い風が吹き、風車の設置に適した平坦な地形
- 2000年代以降、導入が活発化し、県内全域で282基を設置

【洋上風力発電】

- 秋田県沖は、風力発電に適した遠浅の海底地形

全国順位	陸上風力発電 導入量（令和4年末）	洋上風力発電 導入量（令和5年3月末）
1位	青森県（73.9万kW）	秋田県（13.9万kW）
2位	秋田県（64.9万kW）	福岡県（0.3万kW）
3位	北海道（51.0万kW）	千葉県（0.2万kW）

※出典（一社）日本風力発電協会の統計データから秋田県作成

◆秋田県における洋上風力発電



- 全国10の「促進区域」のうち、**秋田県で4区域が指定**
- 4区域の洋上風力発電による出力は、令和12年（2030年）までに原子力発電の約2基（約200万kW）分の見込み

八峰町・能代市沖 25基

R6年3月「JREを中心とする事業体」が選定
R11年6月運転開始（予定）

能代市・三種町・男鹿市沖 38基

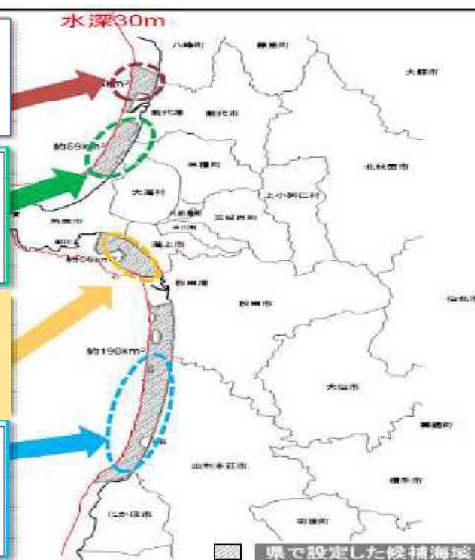
R3年12月「三菱商事を中心とする事業体」が選定
R10年12月運転開始（予定）

男鹿市・潟上市・秋田市沖 21基

R5年12月「JERAを中心とする事業体」が選定
R10年6月運転開始（予定）

由利本荘市沖 65基

R3年12月「三菱商事を中心とする事業体」が選定
R12年12月運転開始（予定）



◆秋田市における洋上風力発電



① 令和
5年1月

秋田港で、13基が商業運転を開始

【事業者】 秋田洋上風力発電(株)

⇒出力0.42万kW×風車13基=5.5万kW（4万世帯分）

② 令和
10年6月
(予定)

「男鹿市、潟上市、秋田市沖」で、21基が運転を開始予定
(一般海域の着床式では国内初)

【事業者】 男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy コンソーシアム

⇒出力1.5万kW×風車21基=31.5万kW（30万世帯分）

秋田港が建設・撤去工事の拠点

発電量は、一般家庭の34万世帯分に相当
秋田市の世帯数（約14万世帯）の約2.5倍

◆秋田市における促進区域の拡大に向けて



今後は、秋田市沖南部が「促進区域」に指定されることを目指す

令和6年9月27日
「準備区域」に選定

今後の動き

準備区域の指定

有望区域の指定

促進区域の指定

事業者の公募開始

事業者の選定

運転開始

促進区域指定に向けて手続中

秋田港洋上風力
2023年1月31日
商業運転開始
出力 5.5kW
(4.2MW×13基)

男鹿市

湯上市

秋田港

秋田市

由利本荘市

N

◆エネルギー関連施策の推進に向けて



再生可能エネルギーの導入が進んでいる状況を好機と捉え、
令和5年度から「新エネルギー産業推進室」を新設

従来（令和4年度）

環境部局

産業部局



環境部長



産業振興部長

- 地球温暖化対策
- 市内のエネルギー施策
- 市民への普及啓発

- 企業誘致
- 設備投資支援
- 人材育成支援



新組織設立（令和5年度～）

新エネルギー産業推進担当部長



「新エネルギー産業推進室」

- 洋上風力発電等の新エネルギー導入促進
- 市内企業の関連産業への参入促進
- 新エネルギー関連企業の誘致
- クリーンエネルギーを必要とする企業の誘致
- 次世代エネルギーの普及・促進

◆秋田市新エネルギービジョンを策定



「将来イメージ」
※秋田市新エネルギービジョン
(令和6年3月策定) から抜粋 7

◆データセンターの誘致に向けて



【秋田市の優位性】

- ・洋上風力発電の整備
- ・通信用海底ケーブル
陸揚局との近接性
- ・寒冷な気候による
高効率な冷却システム
- ・自然災害リスクの低さ

◆国内最先端の新エネルギー産業都市へ



【石狩市×秋田市】令和6年7月、共同研究会を設立

- 石狩市は、今年1月に洋上風力発電の商業運転が開始
- 複数のデータセンターが立地・稼働し、再生可能エネルギーを100%使用する工業団地の整備や水素供給サプライチェーンの構築を目指すなど、本市と類似

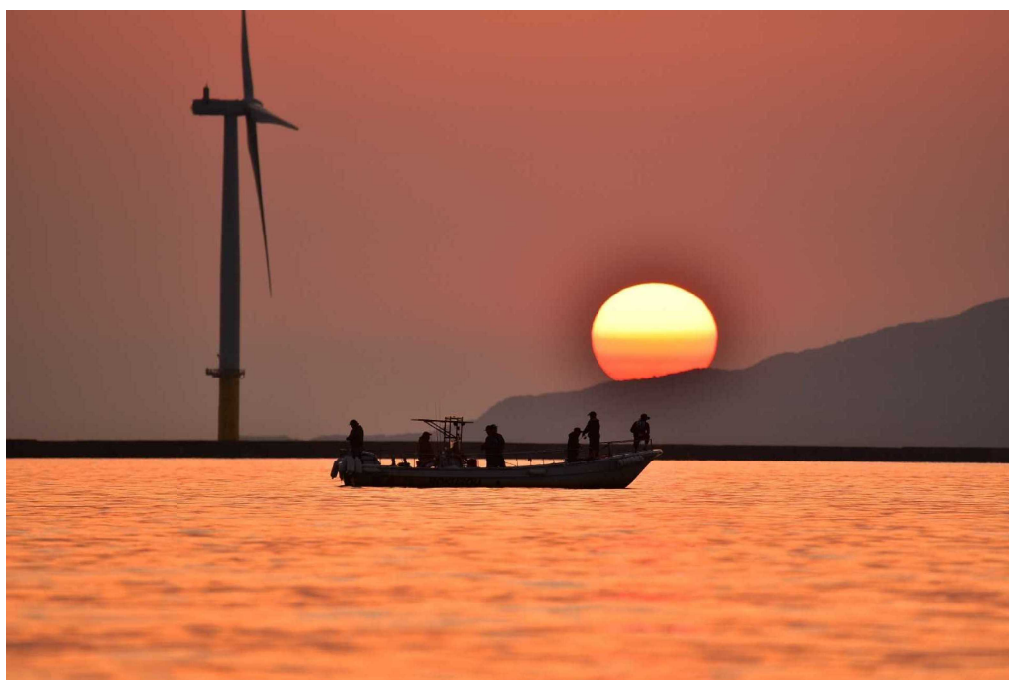
【研究テーマ】

- 浮体式も視野に入れた両市連携による洋上風力サプライチェーン構築
- 再エネの「地産地活」に向けた両市連携による電力需給モデルの構築
- 洋上風力発電やIT関連事業に関する人材育成と産業ツーリズムの振興



9

◆元気な秋田市を次世代に



(写真)夕暮れの日本海と洋上風力発電

10

第 2 会場 発表資料

【第2会場】

芸術文化が創るまちの未来

コーディネーター

秋田公立美術大学美術学部教授 藤 浩志 氏

コメンテーター

芸術文化観光専門職大学学長 平田 オリザ 氏

パネリスト

八戸市 熊谷 雄一 市長

水戸市 高橋 靖 市長

金沢市 村山 卓 市長

趣 旨

我が国には地域ごとに多様な芸術文化が存在しています。地域ごとの特色を生かした芸術文化活動は、地域の観光振興や経済活性化等に寄与するほか、人々の心の豊かさやコミュニティの醸成につながるものであり、自治を支える基盤とも言えます。

こうした中、地方自治体においては、地域の歴史や文化を生かした芸術文化政策の推進を通じて、地域資源を掘り下げ、市民とともにまちの魅力や価値（文化）の再発見と創造に取り組む必要があり、とりわけ中核市は、地域の核としてその中心的な役割を担うことが求められています。

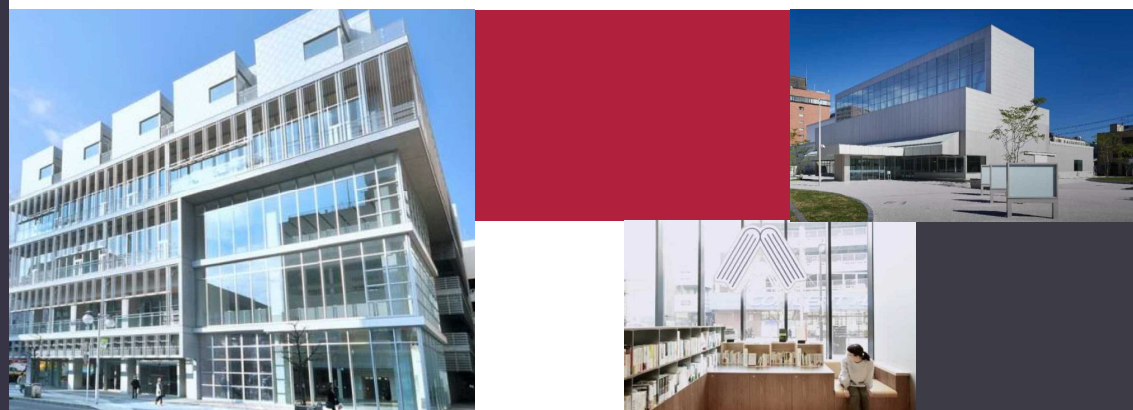
本パネルディスカッションでは、芸術文化の振興がいかに市民生活の向上に寄与するのか、また、芸術文化を生かした個性あるまちづくりなど、中核市の事例発表を踏まえて「芸術文化が創るまちの未来」について議論を深めます。

八戸市

熊谷 雄一 市長

八戸市の文化によるまちづくり

 八戸市長 熊谷 雄一



八戸市の紹介

人口：約22.3万人

水揚げ数量：2.8万トン

【北東北最大級の工業者

【東北有数の港湾物流都市】

www.industrydocuments.ucsf.edu/docs/whd001

秋田

奥羽本線



上起最新车型

高齡

東海道新幹線

三陸復興国立公園
種差（たねさし）海岸天然芝生地

東北太平洋岸自然歩道
「みちのく潮風トレイル」



トレイルのヘッド
エンドポイントと
なる「蕪島」

種差海岸は三陸復興国立公園の北の玄関口として、変化に富んだ地形と多彩な植生を誇る

2013年5月に三陸復興国立公園に指定

2023年5月 国立公園指定から10年

八戸市蕪島から福島県
相馬市まで1,000kmを
超える長距離自然歩道

伝統文化・観光資源



八戸三社大祭
7月31日～8月4日
国の重要無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産

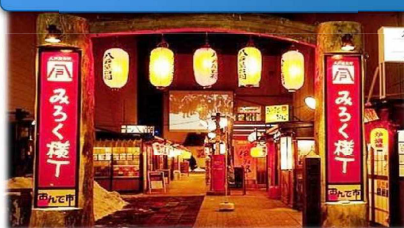
八戸えんぶり
2月17日～20日
国の重要無形民俗文化財



日本最大級の朝市
「館鼻岸壁朝市」



昭和薫る「横丁文化」



国宝「合掌土偶」

史跡は川石器時代遺跡を含む
「北海道・北東北の縄文遺跡群」
が2021年に世界遺産登録！

食のまち八戸



多様で自主的な市民による文化活動



法霊（ほうりょう）神楽

市民の多種多様で
特色のある自主的な
文化活動を「多文化」
と定義



八戸市民フィル演奏会



虎舞



茶道体験



八戸東高校表現科公演



華道体験



書道展

＜文化のまちづくりプラン策定に至る経緯＞

- ◎ 2001年 文化芸術振興基本法公布
- ◎ 2006年 多文化都市八戸推進会議設置
(後に多文化都市八戸推進懇談会)
- ◎ 2007年 八戸市総合計画における文化政策の位置づけ
「まちの魅力創出のためのプロジェクト群」
文化行政の所管が教育委員会から市長事務部局へ
- ◎ 2008年 「多文化都市八戸推進のための提案書」
- ◎ 2010年 「はちのへアートのまちづくり提案書」
- ◎ 2011年 八戸ポータルミュージアム「はっち」開館
- ◎ 2015年 「文化のまちづくりビジョン」策定(市)
- ◎ 2016年 八戸ブックセンター開館
- ◎ 2017年 文化芸術基本法（改正）
- ◎ 2018年 八戸市（新）美術館開館
- ◎ 2022年 「文化のまちづくりプラン」策定(市)



多文化都市八戸推進懇談会

はちのへ文化のまちづくりプラン(2022年3月策定)

【基本理念】

文化芸術を通して市民が生き生きと心豊かに暮らせるまち、
文化芸術の力を活用した魅力溢れるまち、八戸の実現
(「八戸市文化のまちづくりビジョン」のスローガンを踏襲)

- 1 文化芸術を身近なものとしす
- 2 文化芸術でつながりを豊かにします
- 3 文化芸術が連携する分野を広げます

施策	取組方針		
施策1 ふれる・ふかめる ～文化芸術に親しむ～	①市民による多彩な文化 芸術活動振興のための仕 組みや枠組みの構築	②子ども達の文化芸術の 鑑賞や学びの機会の充実	③文化施設の文化プログ ラムの充実と連携
施策2 つくる・いどむ ～新たな創造への取組～	①「アートのみちづく り」の推進と文化創造へ のチャレンジ	②クリエイティブビジネ スの振興	③発信力強化とファンブ クリ
施策3 まじる・まざる ～文化芸術による共生～	①共生社会実現に向けた 環境づくり	②社会包摂の取組の推進	③文化芸術を通じた国際 交流の推進
施策4 のこす・いかす ～伝統の継承と活用～	①世界遺産・是川石器時 代遺跡の適切な保存と価 値の伝達	②地域に根ざす文化の継 承と発展	③文化財の保存と活用
施策5 つなぐ・ささえる ～担う人・支える人の 確保・育成～	①専門人材の確保、育成	②中間支援機能の強化	③文化ボランティアの活 動振興
施策6 あつめる・ひろめる ～連携のソフトインフラ～	①連携・協働を推進する プラットフォームづくり	②県や近隣自治体との広 域連携の推進	③事業資金確保の取組や 企業メセナの推進



中心市街地に市民利用の多目的な施設が集積

中心市街地面積 : 137ha
中心市街地人口 : 4,455人 (R4.9.30現在)



【長根屋内スケート場(YSアリーナ八戸)】
国際大会が可能な国内3か所目のスピード
スケートの拠点施設。



【八戸ゲートミュージアム(はっち)】
複合交流施設で通年でイベントを開催
する。



【八戸市美術館】
美術作品の収集や展示に留まらない
エデュケーション機能を組み込
んだ施設。
※隣接する金融機関と協調開発し、
新店舗も併せて整備。



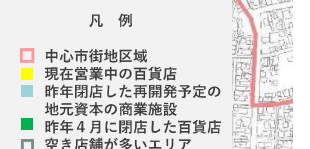
【八日町地区複合ビル(DEVELD八
日町)】
商業・居住機能を有する施設。



【八戸まちなか広場(マチニ
ワ)】
朝6時から夜11時まで自由に過ご
せる施設。



【八戸ブックセンター】
本に関する新たな公共サービスを提供
し本のまち八戸を推進する拠点施設。
※民間再開発ビル「ガーデンテラス」
1階に入居



凡 例

- 中心市街地地域
- 現在営業中の百貨店
- 昨年閉店した再開発予定の
地元資本の商業施設
- 昨年4月に閉店した百貨店
- 空き店舗が多いエリア

・半径200m界隈に施設が集積
・各施設の事業を通じた多彩な
人材の交流
・周辺にはITテレマーケティング
関連産業のオフィス、夜の
飲食店が集まる横丁があり多
彩な人材が交流

八戸ポータルミュージアム「はっち」

2011年2月11日開館

このまちがもっと、このまちらしく輝くために、地域の資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出すところ。



年間
来館者数

約 **80** 万人

(※コロナ前のR1年度の来館者数)

主に未就学児を
対象とした
「こどもはっち」
を4階に設置。

子育て相談、プレパ
パ・プレママ交流会、
障害児の親子交流会
などを実施



1階はっち広場 合唱発表会



2階シアター ダンス公演 自主企画



3階和のスタジオ 万華鏡づくり親子ワークショップ



「本のまち八戸」の拠点施設 八戸ブックセンター



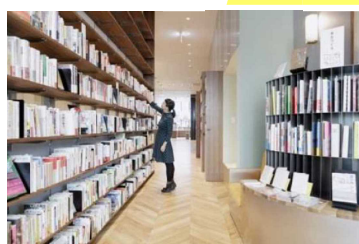
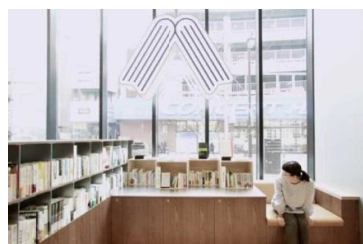
八戸ブックセンター

3つの
方針

●本を「読む人」を増やす ●本を「書く人」を増やす ●本で「まち」を盛り上げる

2016年12月4日開館

年間約**11**万人来館！ (コロナ前の2019年度来館者数)



主な
施設機能

セレクト・
ブックストア

海外文学や人文・社会科学、自然科学、芸術などの分野を中心に、専門家ではなくても手に取りやすい内容の本を主として、幅広くセレクト。興味を引く工夫をした本の陳列をし、気に入った本は購入することができる。

読書会ルーム

本から得た知識や感情などを共有できる場である読書会用の部屋。

カンゾメブース

本を執筆したい人向けに、集中できるブースを設置。

ギャラリー

特定の作家や作品に関する展示、本の印刷・造本・装丁などに関する展示を行う。

主な
企画事業

本のまち読書会

本を読み始めるきっかけや、本を深く楽しむきっかけとなるような読書会を主催。

ブックドリンクス

ドリンクを片手に本について気軽に語り合う交流会。

アカデミックトーク

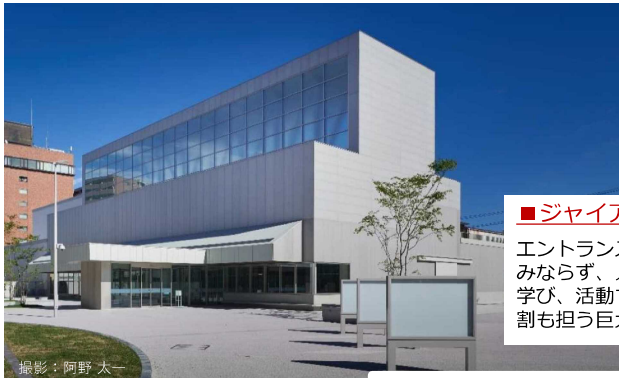
市内の大学等から講師を招いての、本を軸にした知的好奇心を刺激するトークショー。

執筆出版
ワークショップ

小説の書き方や電子書籍の作り方など、執筆や出版に関するワークショップ。



種を蒔き、人を育み、
100年後の八戸を創造する美術館
～出会いと学びのアートファーム～



撮影：阿野 大一

二つの特徴的な空間により
美術館における学びの循環
を目指します



ジャイアントルームの様子

■ジャイアントルーム

エントランスとしての役割の
みならず、人々が自由に集い、
学び、活動する場としての役
割も担う巨大な空間

①
アートセンター
機能

分野横断的に
総合的な文化
政策を担う

②
美術館
機能

展示・調査研
究・収集保存
を担う

③
ラーニング
機能

互いに感性を
高め、育まれて
いく“共育”を担う

3つの機能の融合により
“人や活動”に焦点し運営

■専門性の高い個室群

より深く学び、さらに違う専門
性に偶然出会う、それぞれに
個性がある個室群をジャイアン
トルームの周囲に配置

はちのへ大型公共施設「見える化シート」の取組

- 公共施設マネジメントの推進に当たって
は、**市民の理解を得ることが不可欠**。
- 主要な大型公共施設に係る維持管理コス
ト等の情報について、**分かりやすい形で
「見える化」**し、情報共有を図りながら
取組を進める。

概 要

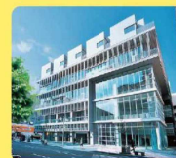
- 施設の基本情報
- 管理・運営の概要
- 施設運営費の状況
 - ・ 支出…①人に係る経費、②企画運営費、③施設
の維持管理費→②、③に係る地元発注率
 - ・ 収入…使用料、その他(貸付収入、国庫補助金、
広告料等)、一般財源(市税、地方交付税等)
 - ・ 施設運営費の特徴
- 地域活性化に向けた取組の状況

公共施設ではどんなことをやってるの？
公共施設ってどのくらいコストがかかっているの？

公共施設の有効利用について
考えてみませんか？



美術館



はっち



マチニワ

見える化の取組

- (1) 見える化シートの積極的な周知 (市民との情報共有)
- (2) アンケート調査の実施等 (市民からの意見の把握)
- (3) 職員のコスト意識向上に向けた更なる取組の実施



- 施設の有効利用による費用対効果の向上
- 公共施設に対する理解の深化

芸術文化が創るまちの未来

オープンでパブリックなスペースとしての公共施設の活用



「はっち」で勉強をする高校生

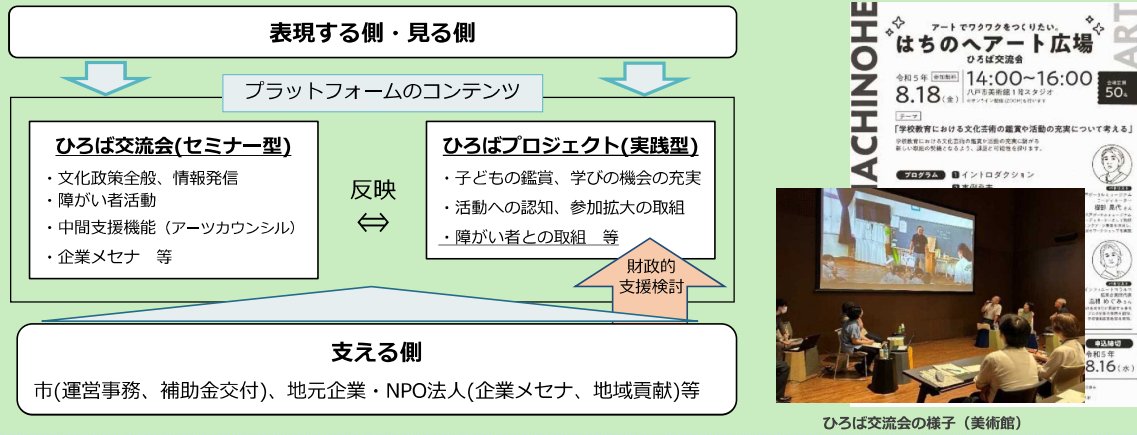


ブックフェスの様子（「はっち」向かいのマチニワ）

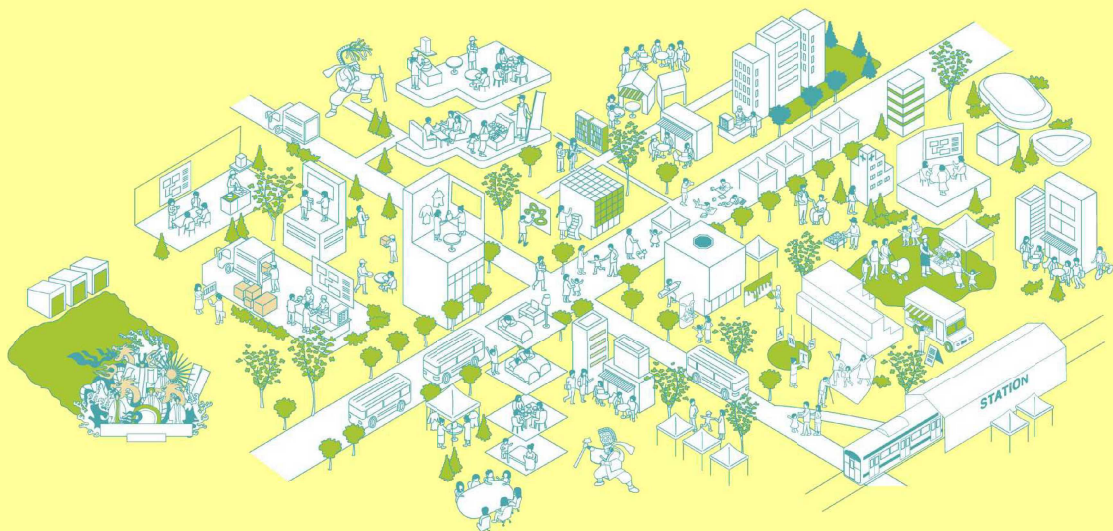


ある日の美術館前ひろば

プラットフォーム「はちのハート広場」



活動と交流がうまれるまち、
みんなで育てるまちへ。



ご清聴ありがとうございました。

[illegible]

水戸市

高橋 靖 市長



水戸市

中核市サミット2024 in 秋田

芸術で彩るまちの光と影

令和6年10月31日
水戸市長 高橋 靖



1



水戸市

水戸市の概要



人口:266,965人 ※2024年10月1日現在

面積:217.32km²

水戸の魅力:

- ①偕楽園, 弘道館などの歴史資源
- ②オセロ発祥の地
- ③プロスポーツ(Jリーグ・Bリーグ) など



2

水戸市芸術文化振興ビジョン(2021～2025年度)

目指す姿:ひとが輝き,まちが輝く 芸術文化を創造するまち・水戸

基本的方向1

芸術文化を育む,つなぐ ～誰もが芸術文化に親しむ～

- ・ 市民主体の活動を支援,促進するとともに,誰もが気軽に参加し,触れることができる機会の充実を図るなど,市民の誰もが芸術文化を身近に親しめる環境づくりを進める。

基本的方向2

芸術文化で魅せる,ひきつける ～水戸ブランドでつかむ～

- ・ 水戸のシンボルとなる芸術文化の拠点において,多彩な事業を展開し,多くの人を魅了するとともに,芸術文化を創造するまちとしてのブランドイメージの確立を図る。あわせて,芸術文化への興味・関心,鑑賞や活動への意欲を高めていくため,活動全体の情報の提供に努める。

基本的方向3

芸術文化を生かす,広げる～多様な出会いから芸術文化をつむぐ～

- ・ 主体や分野を超えて協働・連携することにより,芸術文化の新たな可能性や価値,魅力を創出するとともに,経済効果を生み出す。あわせて,水戸の多様な地域資源へ芸術文化を活用し,まちの新たな魅力として発信する。

3

水戸市芸術文化振興ビジョンの体系

基本的方向

基本施策

1 芸術文化を育む,つなぐ～誰もが芸術文化に親しむ～

ア 市民の誰もが芸術文化に親しむことができる環境づくり

(ア)市民主体の芸術文化活動の促進

(イ)誰もが芸術文化に親しむことができる機会や手法の充実

イ 子どもたちへの芸術文化教育の推進,人材の育成

ウ 歴史と地域に培われた伝統芸能や文化財の保存・継承

2 芸術文化で魅せる,ひきつける～水戸ブランドでつかむ～

ア 芸術文化拠点における多彩な創造・発信

イ 芸術文化情報の提供

3 芸術文化を生かす,広げる～多様な出会いから芸術文化をつむぐ～

ア 多様な主体,分野等との連携

(ア)産学官の連携

(イ)多様な分野との連携

イ 地域資源への活用

4

水戸芸術館の運営

- ・1990年3月22日開館(市制施行100周年記念事業)
- ・水戸から世界に芸術文化を発信する拠点

基本理念

1 新しい芸術文化を創造する芸術館

・芸術館は、既存の評価、ジャンルにこだわらず独自の視点に基づいて活動を行い未来へ向けて新しい芸術文化を創造する。

2 国際的な視野にたつて芸術文化の交流を行う芸術館

・芸術館は、国内はもとより国際的な視野にたつて芸術文化の交流を行い市民の文化意識の向上と日本の芸術文化の振興に貢献する。

3 楽しみながら考える芸術館

・芸術館は、幼児から高齢者まで構えることなくいつでも立ち寄りそれぞれが楽しみながら芸術文化に親しみその意味を考えられるような場となる。

4 市民の芸術文化活動の拠点となる芸術館

・芸術館は、市民の芸術文化の創造及び発表の機会の提供を行うなど市民の芸術文化活動の拠点となる。

5 都市の活性化に寄与する芸術館

・芸術館は、市民の文化的創造の拠点としてはもとより、都市の核としての各種機能、また、まちづくりと連携して活動を展開し都市の活性化に寄与する。

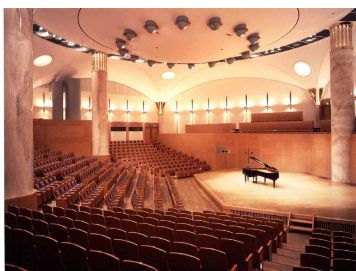
5

水戸芸術館の運営

特色

- ①自主企画事業を中心に ※貸館は行わない
- ②音楽、演劇、美術の専用施設と専属の楽団・劇団
- ③財団による運営と市予算1%の管理運営費
(指定管理者:公益財団法人水戸市芸術振興財団)

新たな文化施設のあり方について、挑戦した取組



コンサートホールATM



ACM劇場



現代美術ギャラリー

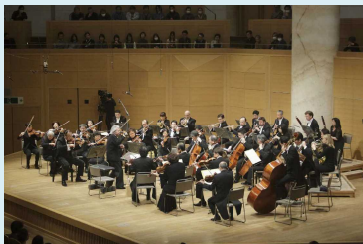
6

水戸芸術館がもたらす効果(光)

1 質の高い芸術文化の提供

音楽部門

芸術監督及び専任の学芸員が、魅力あふれる多彩な音楽公演を企画・制作。専属楽団「水戸室内管弦楽団」の定期演奏会をはじめ、世界で活躍するアーティストによる演奏会など幅広い内容を公演。



水戸室内管弦楽団定期演奏会

演劇部門

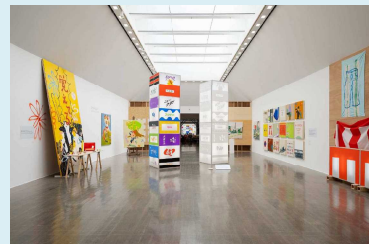
芸術監督及び専任の学芸員が、質の高い優れた舞台公演を企画・制作。独自のプロデュース公演をはじめ、古今東西の名作やミュージカル、伝統芸能まで多彩な演目を上演。



ACMファミリーシアター『スーホの白い馬』

美術部門

現代美術を中心に、建築、デザイン、ファッションなどの分野にも焦点を当てた展覧会を開催。開館から今日までアーティストとともに、移り変わる社会や美術の動向に応じて展覧会やワークショップを企画制作。



中崎透 フィクション・トラベラー

7

水戸芸術館がもたらす効果(光)

2 水戸ならではの芸術教育

「子どものための音楽会」

世界トップクラスの演奏家が集う水戸室内管弦楽団の生の演奏に触れることで、素晴らしい音楽によって子どもたちに豊かな情操を育んでほしいとの願いから、2004年に小澤征爾館長(当時)が立ち上げ、今年で19回目を迎える。毎年、市内の小学5年生などを対象に楽器紹介なども交えた楽しい音楽会を開催している。



2005年開催



2023年開催

8

水戸芸術館がもたらす効果(光)

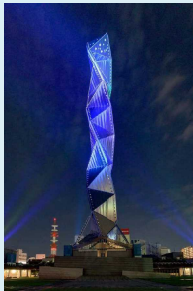
3 効果的な普及啓発活動

水戸芸術館の塔は、水戸市制100周年を記念して地上100mの高さがあり、水戸のシンボルタワーとなっている。三重らせんが空に向かって上昇していくデザインは、無限に発展する水戸を象徴している。

水戸芸術館ライトアッププロジェクト

塔とカスケード(広場の噴水)に季節や時間によって様々な表情を変える新しいプログラムを施し、鮮やかな光のアート作品を生み出している。本プログラムは、まちなかの光アート作品を多数手掛けてきた逢坂卓郎氏によるもの。

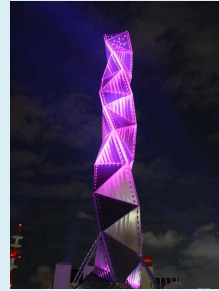
また、「世界脳卒中デー」、「緑内障啓発」、「乳がん予防」など、様々なキャンペーン等と連携し、市民への普及啓発における広告塔としての機能も果たしている。



世界脳卒中デー等

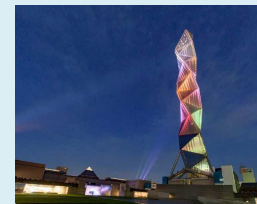


緑内障啓発キャンペーン等



乳がん予防キャンペーン等

水戸の梅まつり期間の
特別ライトアップ



9

水戸芸術館が抱える課題(影)

1 年間約8億円の運営経費の維持

(単位:千円)

	平成2年度	平成12年度	平成23年度	令和5年度
芸術館費(A)	947,110	973,377	749,371	901,499
市予算総額(B) (一般会計+特別会計)	95,145,873	144,072,029	148,890,600	175,556,368
市予算総額に対する 割合(A/B)	0.995%	0.676%	0.503%	0.514%
経常収支比率	69.9%	76.8%	85.5%	98.1%

少子高齢化が進展する中、子育て、教育、福祉の充実など、市民サービスのより一層の向上も重要な政策課題



水戸芸術館の高い質を保つための必要経費であるが、
十分な市民理解が不可欠

10

水戸芸術館が抱える課題(影)

2 芸術文化における費用対効果

	水戸芸術館	水戸市民会館	アダストリア みとアリーナ
(令和5年度実績)			
管理運営費	901,499千円	391,068千円	184,521千円
来場者数	147,856人	1,123,175人	335,856人

芸術文化活動、スポーツ活動は、費用に対する来場者数だけで、その効果が量れるものではない。

心と体の健康づくり、人材の育成、コミュニティの醸成など、数字では推し量ることができない多面的な効果がある。

11

水戸芸術館が抱える課題(影)

3 施設利用ニーズへの対応

- ・市民や市内で活動する芸術文化団体などが施設利用したいとの声は数多くある。水戸芸術館において事業を行うことは、市民のステータスになっている。
- ・しかしながら、水戸芸術館は、自主事業を中心に運営しており、貸館ではないため、市民の活動の場としての提供はできていない状況にある。

4 芸術文化活動の裾野拡大

- ・水戸市芸術文化振興ビジョン策定時のアンケート調査結果からは、市民の芸術文化に対する興味・関心の低さ、活動団体の高齢化が顕著となっている。
- ・アーティスト・イン・レジデンスなど、新たな芸術文化活動が進んでいないことから、裾野拡大が求められる。

5 芸術文化に対する理解の促進

- ・水戸芸術館の展開する企画事業等においては、質の高い芸術文化であるものの、それが伝わりにくい側面もある。
- ・その判断と理解の促進に向け、こどもたちをはじめとする市民の感性を育むことができるよう、芸術教育の充実に努める必要がある。

活動機会の充実・市民協働の推進が重要

12

市民により身近な存在へ

1 市民の芸術文化活動

「水戸市芸術祭」

市民の芸術文化の発表と鑑賞の場として、「創造と伝統ある文化のまちに」をテーマに各種プログラムを開催しており、今年度で第55回を数える。

水戸芸術館において、「市民音楽会」、「美術展覧会」、「いけばな展」、「演劇フェスティバル」など、市民主体ながらも高いレベルでの事業が展開されている。



小・中学校によるコンサート(大手橋プラムコンサート等)

水戸芸術館の音楽ホールにおいて、演奏や合唱ができることから、児童生徒にとって大変貴重な経験となっている。

市内の学校において、県内をはじめ、全国や関東でも、吹奏楽、マーチングバンドなどのコンクールで優秀な成績を収めている。



質を維持しながら、水戸独自の芸術文化活動を推進

13

市民により身近な存在へ

2 未来をリードする人材の育成

「水戸子どもミュージカルスクール」

平成25年に開校し、今年で12期目をむかえる水戸芸術館ACM劇場が開講する教育プログラム。小学校4年生から中学校3年生が、1年間を通して、プロの指導者からレッスンを受けて、歌やダンスの基礎を学び、舞台芸術への親しみや感受性を育みながら、最終的には発表公演を行う。



「茨城の名手・名歌手たちによるコンサート」

茨城県に関わりのある優れた音楽家を広く紹介し、そのさらなる活躍を奨励するとともに、地域の音楽文化の振興・発展を願って開催しており、今年度で第32回を数える。

オーディションに合格した音楽家によるコンサートを開催する。



子どもたちの豊かな感性と創造性を育む

14

市民により身近な存在へ

3 市民参画・市民協働の推進

「明後日朝顔プロジェクト」

朝顔の育成を通して、人と人、人とコミュニティ、そして地域と地域をつなぐ、アーティスト日比野克彦氏によるアートプロジェクト。2003年に新潟県十日町市筋平で始まり、2005年から水戸芸術館で開催し、以降、全国に広がる。



「大丈夫」花壇づくり(ワークショップ)

現代美術ギャラリーで開催された「山下麻衣+小林直人 他者に対して、また他者と共に」のプログラム。
水戸芸術館広場において、作家と一緒に大きな花壇づくりを行う。



水戸の街に響け！ 300人の第九

市民など300名以上の大合唱団が、シンボルタワーの下、水戸の街へ歌声を響かせる。



市民と共にアートでまちを創る

15

さらなる芸術文化の創造・発信に向けて

水戸市民会館(2023年7月2日オープン)

【施設概要】

グロービスホール(大ホール), ユードムホール(中ホール), 展示室, 会議室, 和室, スタジオ, やぐら広場など

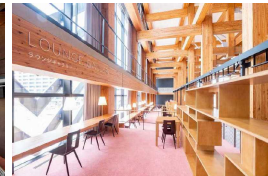
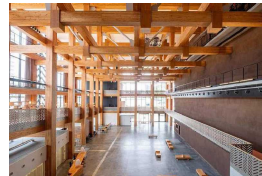
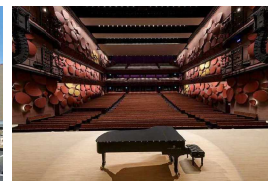
【数値目標(年間来館者数)】

60万人 ⇒ **100万人達成**(開館から319日目)

【多様な活用】

- ・著名アーティストのコンサート等
- ・市民の文化活動の発表の場
- ・大規模コンベンション, G7サミット
- ・学生の勉強や歓談などの交流の場

- 日常的に訪れたくなる
居心地の良い場所(サードプレイス)
- 中心市街地の更なるにぎわいの創出



MitoriO(ミトリオ)

水戸芸術館, 水戸市民会館, 京成百貨店の3つの施設が並ぶ地区の愛称。

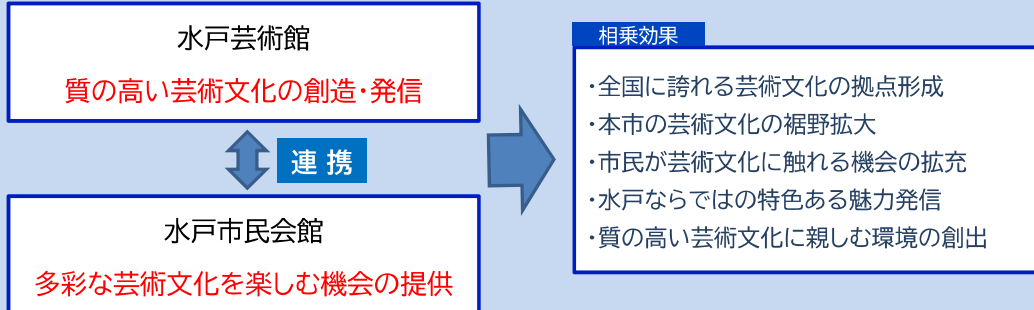
各施設が連携し、まちのにぎわいの創出と交流人口の拡大に取り組む。



16

さらなる芸術文化の創造・発信に向けて

水戸市民会館との連携



開館記念式典(2023年7月2日)



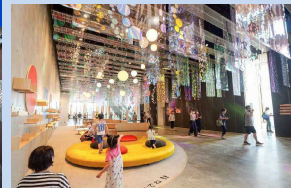
「三番叟」(野村萬斎)



「ピアノ開き」(野平一郎)



「NHK水戸児童合唱団
ミニコンサート」



「アートセンターをひらく2023—
地域をあそぶ」(曾根朝絵)

17



ご清聴ありがとうございました

18

金沢市

村山 卓 市長



未来を拓く世界の共創文化都市・金沢 の実現をめざして

令和6年10月31日

金沢市長 村山 卓

金沢市都市像

新たなまちづくりの指針

金沢市都市像

「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」

～すべての人々と共に、心豊かで活力ある未来を創る～

(令和5年12月15日議決)

都市像実現に向けた行動計画

「未来共創計画」

(令和6年2月策定)



金沢市都市像

基本方針 1 世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ～魅力づくり～

基本方針 2 多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまち ～暮らしづくり～

基本方針 3 共に学び、未来を創る人を育むまち ～人づくり～

基本方針 4 創造・変革により成長するまち ～仕事づくり～

基本方針 5 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ～都市づくり～

各分野への横断的視点

本市の

文化を強みに
多様な分野への
活用

若い世代、民間事業者、
移住者など、
地域に関わる

多様な人々の
視点・活力の活用

あらゆる分野に
おける

デジタル化の推進

文化への投資

住民一人あたりの芸術文化事業費 1位

順位	政令市・中核市	住民一人あたりの芸術文化事業費
1	金沢市	3, 0 3 4. 5 円
2	豊中市	1, 8 6 6. 9 円
3	富山市	1, 7 3 8. 3 円
4	高崎市	1, 5 9 6. 8 円
5	北九州市	1, 0 2 2. 0 円
6	横須賀市	9 5 2. 2 円
7	久留米市	9 2 8. 2 円
8	仙台市	9 2 7. 4 円
9	豊田市	9 0 2. 0 円
10	山形市	8 3 9. 4 円

2023年11月11日 日本経済新聞朝刊より

金沢美術工芸大学

○設立の目的と沿革

- 昭和21年（1946年）

金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して、本多町3番丁（現出羽町）に金沢美術工芸専門学校を設立

- 昭和30年（1955年）

金沢美術工芸大学を設立

- 昭和47年（1972年）

小立野5丁目に新校舎が完成

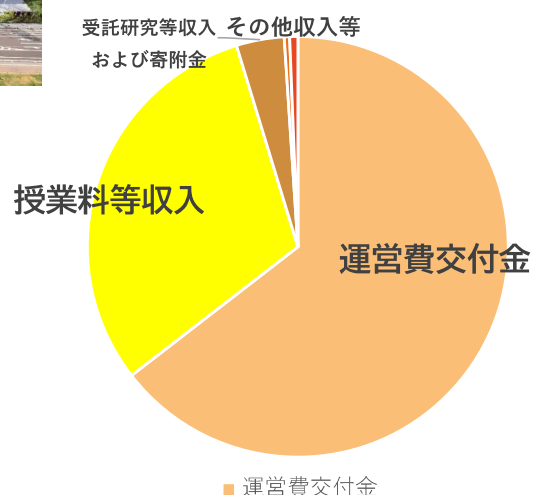
- 令和5年（2023年）

新キャンパスに移転開学



金沢美術工芸専門学校の様子
（現在の石川県立歴史博物館）

金沢美術工芸大学



金沢卯辰山工芸工房

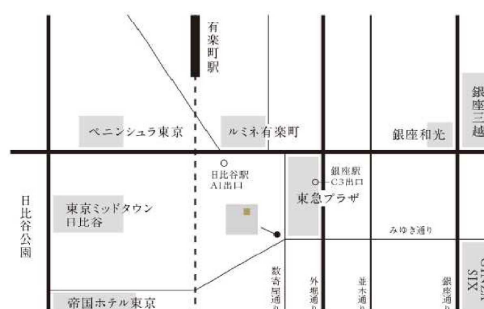
金沢卯辰山工芸工房 1989（H元）開館



- ◆陶芸、漆芸、染織、金工、ガラスの5つの工房
- ◆金沢の工芸の未来を担う研修生
- ◆世界に通用する人材の育成を目指す
- ◆加賀藩御細工所の資料を収集

KOGEI Art Gallery 銀座の金沢

令和6年3月24日移転オープン



〒104-0061 東京都中央区銀座5-1-8 銀座MSビル1・2階



子どもの伝統文化体験



伝統文化の担い手確保・育成

中学生 金沢の文化鑑賞事業



中学1年生	オーケストラ鑑賞会
中学2年生	素囃子鑑賞会
中学3年生	観能教室

芸妓文化の継承支援と情報発信



石川伝統芸能支援経済人会議
公益財団法人横浜記念金沢の文化創生財団

文化芸術の活動基盤

金沢 21 世紀美術館 2004（H16）開館



大規模改修を実施

文化芸術の活動基盤

金沢市民芸術村 1996（H8）開館

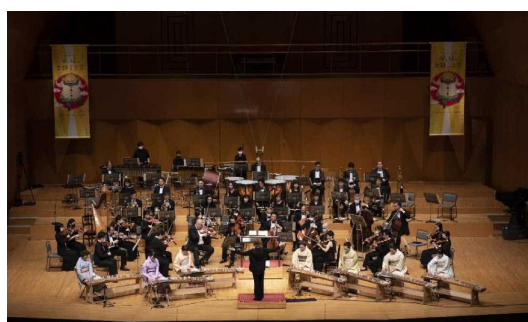
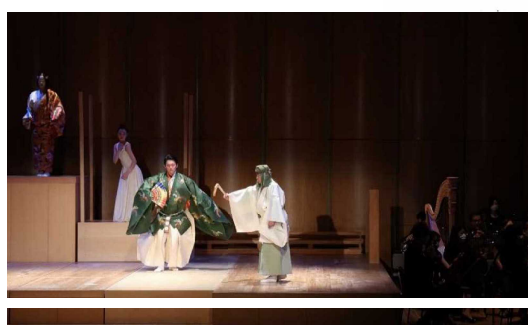
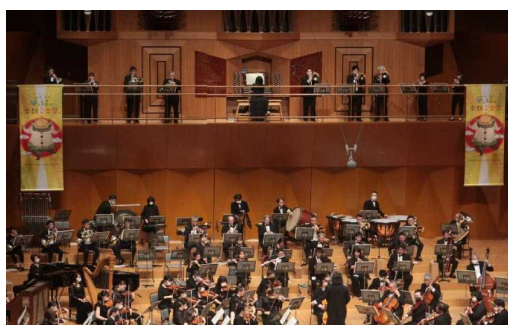
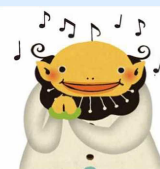


リニューアル構想を策定

幅広い文化の発信

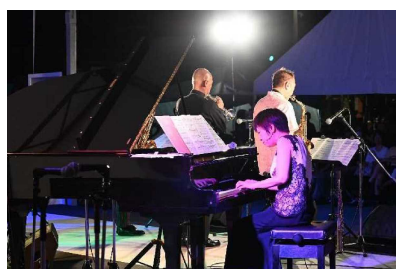
ガルガンチュア音楽祭2024

（旧）いしかわ金沢風と緑の楽都音楽祭



幅広い文化の発信

金沢JAZZ STREET 2024



多様な演奏プログラムでジャズの発信



ご静聴ありがとうございました

Welcome to Akita City!

中核市サミット 2024 in 秋田

